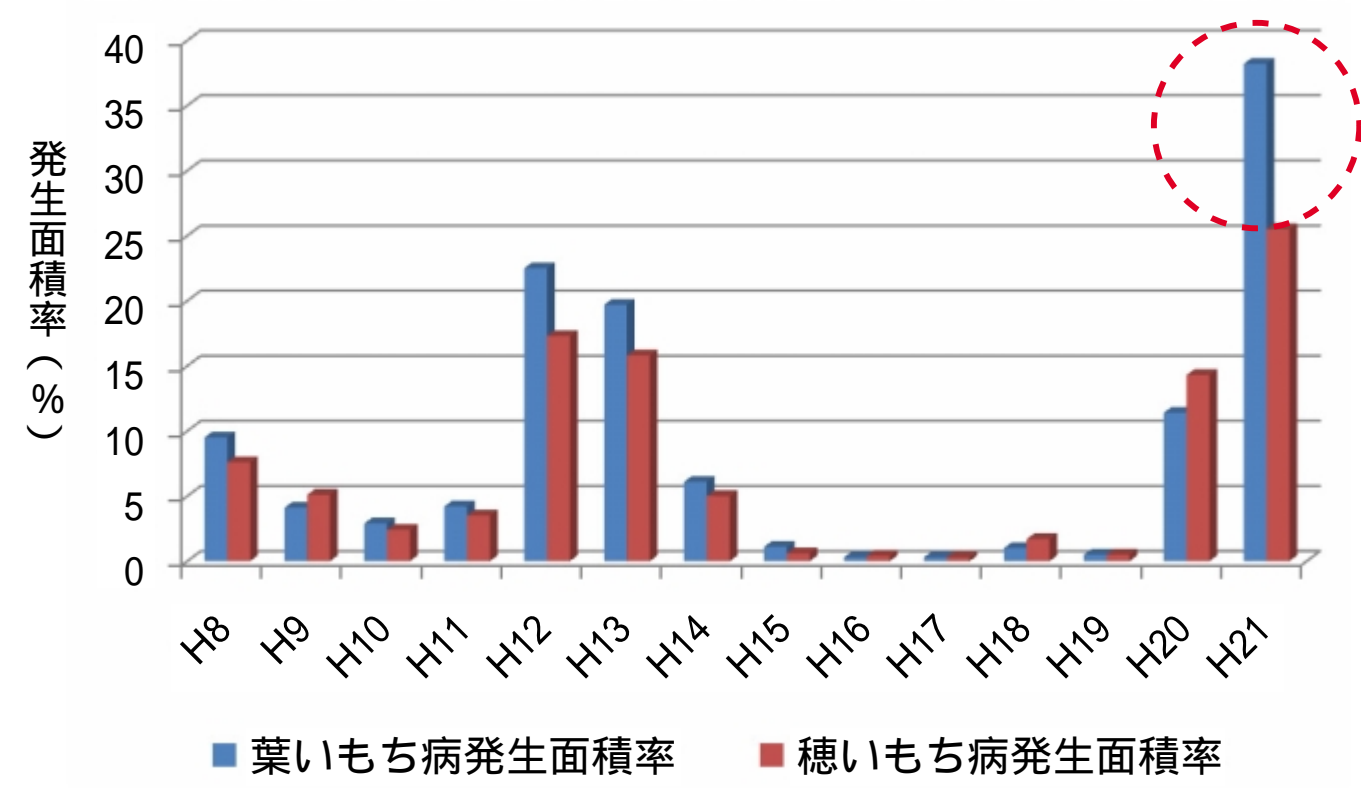


平成21年は、いもち病が激発



菌密度が増加
 昨年発生したところはもちろんですが、発生が無かったところでも、油断の無いように。

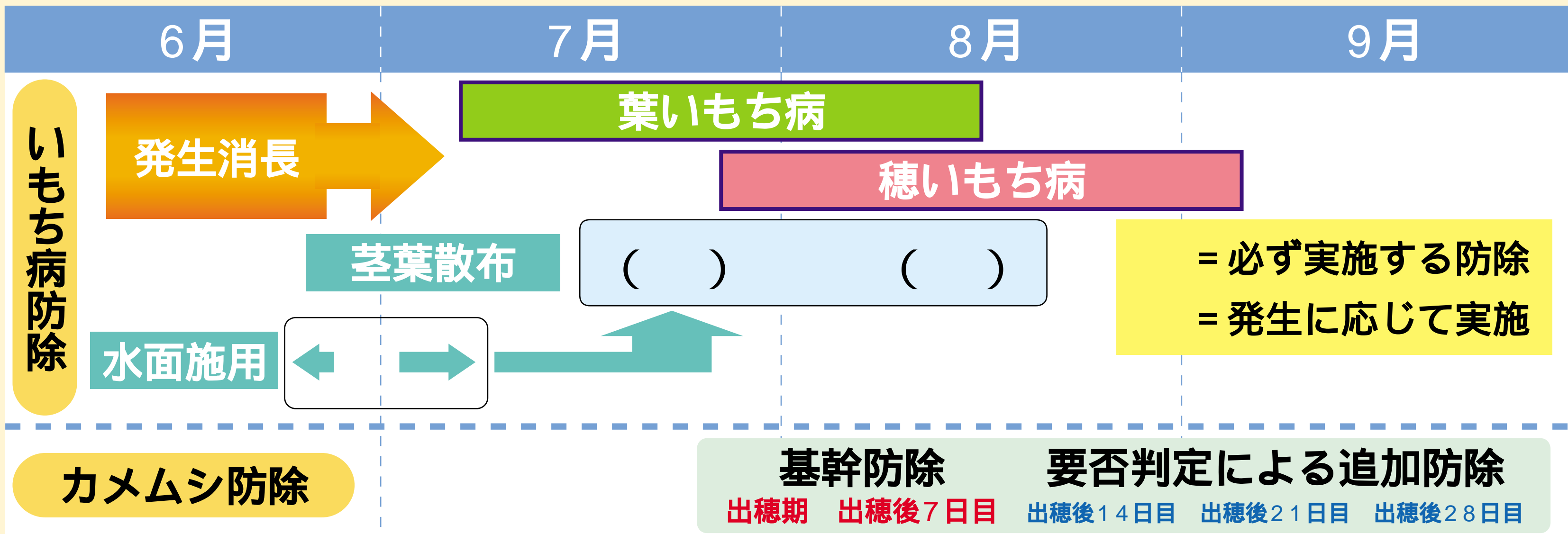
育苗時からの発生に注意 (籾殻やワラが育苗ハウスに近い所では特に)
 葉いもち病の病斑を見逃さず防除の徹底を
 感染好適条件日を見逃さない

カメムシの防除



すくい取りまたはフェロモントラップを利用した予察で防除の徹底を

いもち病・カメムシの防除 発生予察、すくい取り予察を実施する



水田での防除に際し、農薬を圃場外に飛散させない

- ・ 風の無い条件で散布するとともに、ドリフト低減ノズルなどの器具を使用する。
- ・ 粉剤は、液剤や水和剤と比べ、特にドリフトの注意が必要です。